

冬の博物館

1月17日(土)・18日(日)

1月7日から申し込みスタート!

- ★雪中化石探検
- ★バックヤードツアー(博物館裏側探検)
- ★化石キャンドルづくり



雪の中からクリスタルを発掘



アウストラロピテクスの
キャンドル作り

日時：1月17日(土)、18日(日)

時間：午前の部10:00~11:30
午後の部14:00~15:30

参加：500円

注：博物館まで電話で申し込み(1月7日~)。
各回先着10名(組)
小学3年生以下は保護者同伴

小学3年生以下
の場合は保護者
も一緒に!!

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

No. 132

2014年 12月10日発行
(年4回発行)

アショロアたち 変身

アショロアやデスモスチルスなどは、陸に立っている姿で骨格が組み立てられてきました。足寄博物館に展示している骨格はみんな「立って」います。2014年春、展示を更新して、海を泳いでいる復元画がパネルをかざりました。

つまり、足寄博物館の展示は、《立体の骨格》と《説明の絵》でくいちがっているわけです。

最近の研究成果から、アショロアたちの海での生活のしかたが、より詳しくわかってきました。デスモスチルスは「かなり泳いでいた」一方、足寄町茂螺湾（もらわん）で見つかったアショロアやベヘモトプスは「のんびり泳いでいた」らしいのです。

いま博物館では「骨格も泳がせよう計画」が進んでいます。骨の特徴の再検討、今の動物の泳ぎ方の調査など資料を集めています。復元・組み立ては冬の仕事です。泳ぐアショロアの仮組み、ミニチュア・デスモスチルスをつかった泳ぎ方の検討を進めています。もちろん、作業は化石工房＝作業展示室で公開します。



新しい考え方の「束柱類像」をしめす説明パネル



立った姿勢のアショロア（小さい方）とベヘモトプス

30万人達成！

開館以来の入館者が30万人を超えました。

8月8日、夏休みで足寄町美利別のおばあちゃんのところ遊びにきた、釧路市阿寒町の橋本花凛さん（6歳）と本別町の福良涼さん（9歳）・颯太さん（7歳）のいとこ3人組みとお母さんたちです。



入館者30万人を報道する北海道新聞（左）と朝日新聞（上）

古脊椎動物学会に学芸員派遣

11月4日から8日にかけて開催された古脊椎動物学会で、足寄動物化石博物館の研究成果が発表されました。ドイツのベルリンで開催された今回の学会には安藤達郎学芸員が参加し、足寄から産出した巨大なクジラの化石に関する研究を発表しました。足寄はヒゲクジラの進化を解きあかすカギとなる「歯のあるヒゲクジラ類」の産地として世界的に有名ですが、今回の発見で2500万年前に海だった足寄では、今まで考えられていたよりも倍以上大きい、体長8mのヒゲクジラがいたことが明らかになりました。

カナダ・アルバータ 研修

カナダのアルバータ州からは多くの恐竜化石が見つかり、大型脊椎動物化石の研究が盛んです。9月末から10月末にかけて、新村龍也学芸員がアルバータ大学と王立ティレル博物館で研修を行いました。アルバータ大学では復元作業、王立ティレル博物館では収蔵庫とプレパレーションルームで標本処理の研修を行いました。



復元作品の制作法を掲載

地学団体研究会が発行する学術雑誌「地球科学」vol.68の3号と4号に、足寄動物化石博物館がこれまで行ってきた復元模型や復元画の制作法を3回に分けて紹介しました。



第6回バロックコンサートを開催

今年で第6回となる「化石と古楽のしらべ バロックコンサート」が9月6日（土）に開催されました。今年は100名が来館し、チェンバロやリコーダーの響きを楽しみました。最後には人気曲の合唱もあり、楽しいひと時となりました。



サーベルキヤットの模型をつくろう!!

町内の幼児・小中学生限定

日時：1月10日（土）～12日（月）

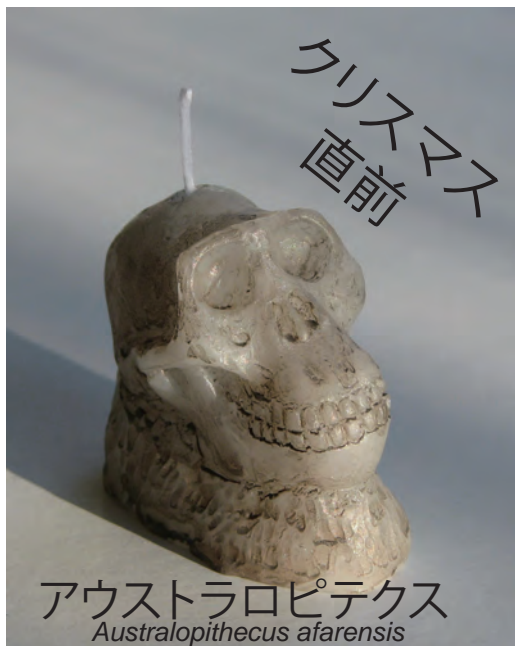
時間：開館時間中（9：30～16：30）

参加：無料

注：●保護者の方は町民研修制度を利用すると入館が無料になります。
●型が5個しかないので、一度に5人までしか作れません。
●色をぬる事ができますが、乾燥に1日以上かかります。



化石キャンドルづくり



日時：12月20日（土） 21日（日）

時間：開館時間中

作業：1時間

参加：200円

注：小さなお子様の場合は、保護者の方がサポートしてください。型が5個しかないので、一度に5人までしか作れません。大きさ約5センチ



手順：

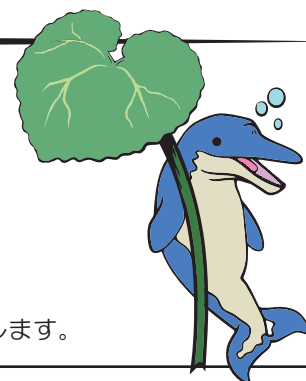
といたしたロウを型に流し込む。
↓
20分程度冷えて固まるのを待つ。
↓
取り出してヒモをうめ込む。
↓
うすめた絵具をサッとぬる。
↓
乾燥したら完成!

足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

今年で2回目になる「冬の博物館」を実施します。去年の「冬の博物館」にバックヤードツアーと化石キャンドルづくりを加え、バージョンアップ!